

令和6年度第1回東松島市総合教育会議議事録

日 時 令和6年8月22日（木）午後3時から午後4時20分

場 所 東松島市役所 3階 301会議室

出席者 東松島市長 渥美 巖
東松島市教育委員会 教育長 志小田 美弘
東松島市教育委員会 教育委員 木村 和彦
東松島市教育委員会 教育委員 福田 ゆかり
東松島市教育委員会 教育委員 松岡 勝久

傍聴者 2人

次 第

1 開会

2 あいさつ 東松島市長 渥美 巖

3 議題

（1）報告事項

- ①学校プールの利用状況について
- ②中総体・吹奏楽コンクールの結果について
- ③教育支援センターの現況について
- ④朗読・暗唱読本の作成について

（2）協議事項

- ①全国学力・学習状況調査並びに全国標準学力テストの結果と本市の学力向上取組について
- ②目指す「15歳の姿」を共有した取組について

4 閉会あいさつ 東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘

5 閉会

事務局（総務課）

ただ今から、令和6年度第1回東松島市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、渥美市長からご挨拶を申し上げます。

渥美市長

本日は、令和6年度第1回東松島市総合教育会議ということで、木村委員、松岡委員、

福田委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

子ども達の夏休みは、21日の昨日まででしたが、様々な行事へ参加いただきました。今年からは小学5年生が初めて、本市と友好都市である東京都大田区へ7月30日から2泊3日で東京研修に18人参加いたしました。この事業は、小学生のうちから見聞を広げてもらおうよう、今年度から始めており、羽田空港や横浜港など、日本の中枢である首都圏へ実際に行ってみて、体験してもらおうよう企画したものです。また、北海道更別村との子ども交流としても、今年は小学5・6年生が8月2日から3泊4日で9人が更別村へ行っています。また、8月7日からは、中学生18人が北方領土視察ということで、来年2月7日は北方領土の日宮城県民集会在本市コミュニティセンターを会場に開催するため、北方領土が見える北海道中標津、根室へ視察に行っております。この視察研修は、これまで2年に1回しか行けないということで、今年は行けない年でありましたが、私が宮城県に直接、本市で開催するのに、本市の子ども達が行けないのでは、この領土問題を身近に感じて、継承できないのではないかと話しをして、何とか予算を確保していただき、去年の七ヶ浜町に続いて、今年も行っていました。その成果を2月7日に発表していただきますので、教育委員の皆様にもぜひお越しいただきたいと思います。

今年も早いもので、上半期が過ぎようとしており、教育関係事業の進捗状況については、大曲小学校の解体工事は完了し、昨日改築工事の入札がありましたので、今後改築工事を進めることとしており、矢本一中の武道館改修工事については、来月発注予定であり、年度内完了を予定しています。図書館増築についても、既に工事に入っており、来年4月には完了する予定で、鷹来の森運動公園についても、全体的な改修を行っていく予定で業者も決定したところであります。

本日の会議は、報告事項4件、協議事項2件、ということで、限られた時間の中ではございますが、委員の皆様と有意義な意見交換ができますことをお願い申し上げ、開会のあいさつといたします。

事務局（総務課）

それでは議題に入ります。東松島市総合教育会議運営要綱の規定に基づき、市長を議長として進行します。渥美市長よろしくお願ひいたします。

渥美市長

それでは、要綱の定めるところによりまして、議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。早速議題に入ります。はじめに、議題（1）報告事項、①学校プールの利用状況について、②中総体・吹奏楽コンクールの結果について、③教育支援センターの現況について、④朗読・暗唱読本の作成について、一括して事務局から報告いたします。

事務局（教育総務課）

資料1ページから7ページ説明。

渥美市長

ただ今説明のあった4件について、委員の皆様から何かご質問ございませんか。
夏休みのゆふとのプール利用率はいかがでしたか。

事務局（教育総務課）

ゆふとの利用については、8月4日（日）から19日（月）までの木、金、土曜日を除く10日間の実施になります。昨年度はお盆期間だけの実施でしたので、日数が増えたことに伴い利用人数も増え、昨年度は250人前後だったかと思いますが、今年度は329人と増加いたしました。当然、地理的なこともあり、学校ごとの利用人数のばらつきはありますが、有効に利用していただいたと受け止めております。

渥美市長

宮野森小学校は夏休み期間中1日しか利用できなかったようですが、他の小学校だと4日以上はありますが、何か原因があるのでしょうか。

事務局（教育総務課）

一番は暑さの影響だと思われます。気温と水温を足した数値基準があります。各校に聞いたところ、今年もぎりぎりのところで推移し、日光の当たり方など、設置の条件によって数値が変わってくる部分があり、結果的に影響を受けてしまったのが宮野森小学校ということでございます。

渥美市長

委員の皆さま、何かありませんか。

中総体は総合的にみると、どうでしたか。

事務局（教育総務課）

団体種目ではおいしいところまではあったのですが、個人種目では大変健闘したようです。

渥美市長

それから、教育支援センターが移転し2年目ということで、結果としては一定の評価をいただいておりますが、そこにある小さい畑ですがあれで十分間に合っているのですか。

事務局（教育総務課）

人手や管理のこともありますので、あの程度で十分だと思っております。

渥美市長

朗読・暗唱関係についても今はじめたばかりですね。子どもたちの人気は、例えば1、2年生に人気あるのかどうか、新しい事業はどういう感じなのでしょう。

事務局（教育総務課）

まだ子どもたちには内緒にしています。先生方が選んでいますが、低学年担当の教員は低学年にあったもののプラス、古典も触れさせるということでチャレンジングなものも選んでいます。

渥美市長

皆さんこの4つの報告事業について、よろしいでしょうか。

最近全国の学校が夏休み期間を短縮するとか、二学期制の導入など進めてきたことが、今、こういう形で新たに通常の詰込み式を少し緩和したいような話をしているのですが、その辺の流利的なものありますか。

教育長

まさに、つい最近新聞にも載ってました。夏休み短縮の動きの方向があります。それからもう一つは二学期制。なぜかという授業日を増やすと、増やしてどうするのかという話があります。増やした分を週30コマあるのですが、6×5日でも、毎日6時間みたいなタイムテーブルをゆとりあるものにしていくために、夏休みを短く2学期制にして、授業日を増やすという動きがあります。本市でいえば授業日数の確保ということも加えて、ゆとりある教育編成にも資する取組でスタートした時に、まさに本市は5、6年前に先取りした動きをしていて、2年前にすでに2期制に取組んでいます。そういう意味では生まれた授業時数、これを使って1週間の時間の中で、毎日6時間ではなくて、5時間授業の日を増やすようにお願いしますということに活かしています。全国の動きで文科省としては、そのような方向で検討してくださいというのを出しています。

渥美市長

20日頃までがこの辺のお盆期間という考えがあり、20日過ぎるとお父さん、お母さんも働きに出かけ、小学1年、2年生を自宅に置いておくのが心配と言われています。そういうことも踏まえるならば、20日までの夏休み、21日から働きに出るのだから、もう1日位詰めることは考えられないのですか。

教育長

県内で本市が一番進んでいると思います。親に聞くと短いほうがいいということもあるかもしれませんが、子どもたちもお盆休み終わって、ちょっと家で勉強して、と考えるとちょうどいいと思います。

渥美市長

最初導入するときは教員の皆さん方から大反対受けたのですが、親の人たちは逆に賛成で、中学生の子どもからは、「市長、夏休みを返してください」なんて言われたことがあったのを思い出されます。本市では学習時間を確保できているという評価としていいのですよ。

教育長

1週当たりのコマ数を27くらいにしてもらおうといいと話してはしています。小学生でいうと1,015時間が標準時数ですが、それを確保した上で、生まれた放課後の5時間の日を増やすことによって、個別の教育活動の時間が生まれますので、教師の教材研究もですが、個別に手当てが必要な子どもへの対応などに取組むことができる時間を生み出せている気がします。

渥美市長

あと、先生方の働き方改革、部活動の問題などもスタートしているようですが、それら

の事業に対する評価は先生方から聞いたりなどあるのでしょうか。

事務局（教育総務課）

昨年度、合同部活動を行ったことで、普段ひとりで顧問をもっていますが、地域の方と協力しながら活動できることは、子どもたちにとっても技術指導が充実できる。それから、自分のゆとりのある土日の使い方をしながらも、その分子どもたちに月曜日に笑顔で接することができる。それだけでなく、専門ではない先生たちにとってはとても有効になったという話はいただいています。自分の技術指導に生かせる機会にもなっていると聞かれています。子どもたちも同じように、アンケートで答えておりました。

渥美市長

ありがとうございました。

それでは、続きまして（２）協議事項に入ります。①全国学力・学習状況調査並びに全国標準学力テストの結果と本市の学力向上の取組について議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局（教育総務課）

資料９ページから２１ページ説明。

渥美市長

ありがとうございました。

全国学力調査の結果をみると、小学国語・算数、中学国語・算数ともに宮城県平均と同程度の数値となっており、県との差は少なくなっているのがわかりました。今後の先生方の授業づくりに期待したいと思います。

政令指定都市の仙台市の状況はどのような状況ですか。

事務局（教育総務課）

正確な数値ははっきり言えませんが、全国とほぼ同等です。

渥美市長

仙台市はちょっと高いということでしょうか。

教育長

政令指定都市の中でも高いです。

渥美市長

そして色々対策もしていただいて、だいぶ良くなっていることが先ほどの数字で分かったということですね。これに対して、委員のみなさまから何か質問等ありませんか。

松岡委員

先ほど空き時間に問題を見せてもらいましたが、国語も算数も、特に算数は読む力を試されるような問題が多く、来年暗唱読本を始めるところですが、やはり新聞にこの結果が

出たときに仙台市1ポイント高い、宮城県全部1ポイント低いという結果が出ました。それに並び、新聞を読んでいる小学生、読まない小学生、正答率の違いというのが出ており、けっこう違いが出るものだと感じました。だから読書に親しむことは非常に大事で、今、課題にもありましたが読み解く力をもう少し本市でもアップできればだいぶ結果も変わってくるのだと問題をみて思いました。

ですので、来年の暗唱読本大変期待が大きいかなと思っておりますので、是非文章に触れる機会というのを作っていただきたいと思います。

渥美市長

他にありませんか。

木村委員

数年前からの夏休みを減らし、本当にいろんな工夫を先生方にさせていただいて、結果としても出ているということは本当に楽しみです、今後が非常に楽しみだなと思います。そのほかに、私は学習力というのは生きる力だと思っているので、その辺も先ほどの暗唱の部分を含め、人としての生きる力もアップしていただけたらなと思っております。

渥美市長

教育長、どのようにして生きる力を考えているかお願いします。

教育長

学校教育に期待されるのは、究極はそこなんです。しっかり自立して、一生自分の力で生きていく力、よりよい社会人とかそこだと思いますが、本市の教育全体構想図というのは学力保障だけではありません。学力保障と成長保障これを2本立てにしています。校長会議のたびに、本市の教育は二兎を追いますという話を毎回しております。バランスの良い骨太の教育、そのための政策をやっていくことだと思っております。暗唱読本もすぐ結果出ればいいのですが、結果が出るまで10年くらいかかるかもしれません。本市の卒業した子どもたちは漢詩や古文の一つや二つ諳んじられる市民にしたいなと思ったりします。読書が学力形成に致命的に大事だというのは誰もがわかっていることで、授業そのものを読む書くということを本当に大事に、デジタルの時代だからこそ大事にしなければいけないと思っています。

渥美市長

各学校に新聞は置いていると思いますが、活用はどのようになっていますか、図書室にでも置いているのですか。

教育長

学校によって置き場所は違いますが、NIE教育で2、3年前は東小がモデル校になっていて、一中の2年生の女の子が先日の新聞に地域防災関連で出ていました。教材的な活用されていると思います。

渥美市長

ありがとうございました。それでは②目指す「15歳の姿」を共有した取組についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局（教育総務課）

資料23ページから33ページ説明。

渥美市長

ありがとうございました。

ただいま事務局からの説明がありましたが、本市が目指す「15歳の姿」を全ての学校が共有し、義務教育9年間を見通した指導を充実させるために市内3中学校区で小中連携の取組が行われております。委員の皆様からご意見等ございませんか。

前はコミセンに子どもが集まり、ゲーム等をいろんなグループでやっていたようでしたが、今回はスマホやタブレットで、それぞれの学校で見たのか、または個人で見たりしたのですか。

事務局（教育総務課）

サミットについては例年通り代表児童生徒はコミセンに集まり、昨年度までは夏休み中の開催でしたので、サミットに参加する児童生徒以外は一切サミットの様子を知らないものですから、今年は授業日に開催ということでコミセンでの様子を全ての学校学級にオンラインで配信したということでございます。

木村委員

タブレットで見たのでしょうか。

事務局（教育総務課）

自分のタブレットで見たり教室で1台で見たり学校にお任せでした。榊先生から自分の講演をオンライン配信することは当初難色を示されていましたが、脳科者ですので、対面で話を聞くのは子どもたちの心には残るだろうけど、画面を通して聞くとなるとその時はなるほどなと思っても、後々は残らなくなるという持論でございました。そこを何とか今日学校にいる子どもたちにも見させてほしいと拝みたおし、何とか見せていただきました。その代わり、各学校で担任の先生による振り返りはきちんと行ってほしいというような指摘をいただいております。先ほどアンケート調査結果が出たように、子どもたちからは良かったというような評価をいただいています。

木村委員

できればその先生を前に生徒全員をどこかに集めて、話を聞いてもらえれば一番いいのかな。例えば市民体育館とかで聞いてもらえたら、先生ももっといいのかなと思いました。

事務局（教育総務課）

次年度は学年を絞って、全員コミセンに集めて直に榊先生の講演を聞いていただこうと考えています。今年小5の子どもたちから上はみんな聞きましたので、現在の4年生、来

年5年生になりますが、来年の小5年生をコミセンに全員集めて講演会を実施しようと考えているところです。できれば保護者にも聞いていただきたいなと思っております。

渥美市長

最後にその他、委員の皆さまからございませんか。

木村委員

夏休みの学校の図書館の利用はどうなっているか聞きたい。数年前に教育委員の皆さんと学校訪問した際に、矢本二中の3年生の女の子の意見がありまして、学校夏休み中で家で勉強したくても周りがうるさかったり、もちろん暑いというのもあって、学校に来て利用させていただきたいという要望があったのですが、その後どうなったかをお聞きしたい。

教育長

私の経験から言うと、学校開いている時に子どもが登校し、勉強したいと来た時にだめだと言う学校はないです。閉庁期間は別ですが、学校に教員がいれば、どうぞ来て勉強しなさいという対応だと思います。

木村委員

最近ものすごく暑く、全家庭にエアコンがついているかというのもわからないので、今後、夏休みの図書館をもっと子どもたちに利用していただけるような機会があるといいなと思っています。

渥美市長

確かに最近の暑さには異常ですが、市としても公共施設15か所で約300人が入れるクーリングシェルターを設置しています。そういう面では学校の1つの部屋、例えば図書室などをうまく活用するのも一つの方法かもしれません。それから、子どもたちが行き場がないというのはまずいので、今後この暑さ対策色々考えていかなければならないというのを特に感じます。

他にありませんか。

松岡委員

教育委員会で「独歩」という子どもハローワークみたいな事業で、夏休み中にハラッパと松岡生花店に約10名小学生が働きにきました。非常に積極的な子どもたちがたくさんいて、その求人票を見た好文館高校の1年生も花屋さんで働きたいと一週間ほどボランティアで働いていただきました。お盆前で大変忙しく仏花を手伝ってもらい、それで花屋さんのイメージは良かったかわかりませんが、積極的な子どもたちがこうやって社会に出て協同して働いて、誇りをもって誇らしい15歳の姿みたいなそういう積極的な子どもたちが、勉強だけではなく、生きる力を養いながらという積極的な子どもは多いので、この「独歩」を今後も大々的に進めていただきたいと思っています。

教育長

大変嬉しく聞きました。東松島市を学び舎に市民を先生にというスローガンです。いろ

んなところで活用してもらって、子どもの良さを学びたいを色んなところで広めてもらうことで子どもの自己有用感が高まりますし、大変ありがたいと思います。今後もどんどん進めたいと思います。

渥美市長

最後に私から聞きたいのですが、学力と体力を比較すると、秋田などでは学力もいいし、体力もいいようですが、体力については比較しているものはあるのですか。

事務局（教育総務課）

全国体力調査というのは毎年やっており、今年度も8月末でデータを締め切り、秋ぐらいに結果が出ると思います。昨年度の傾向で言いますと、宮城県は全国でも下位のほうだったのが、一時期よりは向上してきているというような結果が出ております。特に本市だと、握力、長座体前屈、柔軟性のところでは比較的高い結果が出ておりますが、立ち幅跳び、シャトルランの長距離走る持久力などはやや落ちているという結果が出ています。

渥美市長

それについては、3月の会議時に取り上げ、結果も資料として出してもらえればと思います。

あと皆さんからありませんか。

木村委員

ちょっと戻りますが、中総体の結果で全国や東北大会に行った素晴らしい方々に対し、市から表彰などというのはあるのでしょうか。

渥美市長

まず、中総体で全国などに行っている子どもの旅費について説明をお願いします。

生涯学習課

中学校の部活で全国大会に出ると、宿泊費や旅費の補助金があります。あと個人やスポーツとかで全国大会に出場した人には1万円の報奨金と合わせて、3月にスポーツ健康都市表彰式で表彰しております。

渥美市長

その他にインターハイに出場している子どもについても義務教育ではないですが、表彰しております。

他にございませんか。

以上で、予定の議題について、すべて終了いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局（総務課）

閉会のあいさつを志小田教育長にお願いします。

教育長

今日から市内小中学校1学期の後半がスタートしました。今日は4件の報告、2件の協議事項でありましたが、本市の学力向上の取組について全国学力調査のデータも大事にしながら、本市独自に年2回の変化を比べ、経年変化をみる標準学力テストも4年くらい経ってまとまった見方ができる気はしていますが、よい方向で成果が出ていると思っていますところ。

それから、目指す15歳の姿ですが、小中連携の取組についてもゼロ学年プロジェクトは県といわず全国でも稀な先進事例だと思います。これも手応えを感じる結果が出ています。3校の教員にはある程度の当然ながら、負担をかけていますが、この取組を第2学区、それから第1学区のほうにも上手に広げていきたいと思っています。

夏季休業中の学校施設の解放など貴重なご意見をいただきましたので、今日いただいた意見提案などもしっかり参考にさせていただきながら、本市の学校教育の改善に引き続きしっかり取組んでまいります。今日はありがとうございました。

事務局（総務課）

以上をもちまして、令和6年度第1回東松島市総合教育会議を閉会いたします。